

# 就労履歴登録機構活動 について

一般社団法人就労履歴登録機構

# (一社)就労履歴登録機構 参加団体

建設業界において利害関係の異なるそれぞれの立場を代表する団体・企業で構成される、労使が一体となって活動している組織です。

## 代表理事

蟹澤 宏剛 芝浦工業大学 工学部建築工学科教授  
野城 智也 東京大学 生産技術研究所教授 副学長

## 特別会員(業界団体)

全国建設労働組合総連合(全建総連)  
建設産業専門団体連合会(建専連)  
日本建設業連合会(日建連)  
勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部(建退共)  
建設業振興基金

## 正社員(元請企業)

大林組  
鹿島建設  
大成建設  
大和ハウス  
竹中工務店  
戸田建設  
西松建設  
三井住友建設

## 賛助会員

三菱商事  
共同印刷  
大日本印刷  
凸版印刷  
ラインテック  
CEC.COM  
イーリバーズドットコム  
IIJ  
リコージャパン  
NEC

# 就労履歴登録システム開発方針

- ・すべての建設技能者の参加を目標とする。可能な限り安価なシステム構築を目指す。
- ・営利を目的として使用しない。憲法第27条, 25条の理念の基づき、労働者派遣法等関連法規に抵触しない仕組みとする。
- ・就労履歴データは、建設業界全体として1か所に蓄積保存する。
- ・正確な本人確認を行ったうえでIDを付番し、DBに登録する。
- ・しかるべき機関がIDカードを発行し、申請者本人に確実に配布する。
- ・就労履歴データと保有資格は、関係者それぞれの権限に応じて閲覧する。
- ・免許・資格の信ぴょう性と利便性を高めるため、発行機関とデータ連携を図る。
- ・他者への情報提供は、建設技能者本人の要請または承諾を得て行う。

## 活動実績

- ・2007年 建設共通パス研究会
- ・2008～2010年 国交省, 総務省助成金による実証実験 3回
- ・2011年 東日本大震災後の仮設住宅工事で使用
- ・2011年 (一社)就労履歴登録機構に移行
- ・2012年 福島市除染事業で活用(総務省助成)
- ・2014年 住宅現場に働く大工さんを対象とした実証実験(国交省助成)

# 2009年実証実験 国土交通省「建設技能者確保・育成モデル構築支援事業」

実験期間: 2009年12月6日～21日間

会員企業4GC各1現場を対象として実施

作業員に扮したメンバー15名が4現場で入退場処理行う(建設技能者は100人1月間)

伝送経路: カードリーダー(有線)⇒現場PC～インターネット～DB

DB～インターネット～WEB閲覧用PC

画面イメージ(建設技能者が自身のデータを閲覧)

**建設共通パスシステム** 詳細情報 ログイン: 古庄 真一郎

**基本情報**

作業員ID	32009121002
カードID	
氏名	[Redacted]
ふりがな	[Redacted]
生年月日	[Redacted]
性別	男
血液型	[Redacted]
住所	[Redacted]
入職年	[Redacted]
雇用先	[Redacted]
建退共加入	加入あり

**勤務日数**

2009年 2010年 2011年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**勤務状況(2010年1月)**

日付	現場名	入場時間	退場時間
6	竹中工務店実証実験現場	09:11	16:23
7	竹中工務店実証実験現場	09:00	16:27
8	竹中工務店実証実験現場	08:50	
8	竹中工務店実証実験現場	08:59	16:26
12	竹中工務店実証実験現場		08:44
12	鹿島建設実証実験現場	16:57	17:07
13	鹿島建設実証実験現場	08:20	18:19
14	鹿島建設実証実験現場	10:34	10:39
15	三井住友建設実証実験現場	07:36	17:16
16	三井住友建設実証実験現場	07:36	18:28
18	大林組実証実験現場	11:01	15:32
19	大林組実証実験現場	08:33	17:03
20	大林組実証実験現場	08:41	16:59
21	大林組実証実験現場	08:37	15:53

個人情報

就労年・月の  
就労日数

日別の就労先  
現場名  
入退場時刻

保有資格

キーワード  
・カードリーダー  
・WEB閲覧

# 2011年総務省⇒福島市補助事業

## 「放射線除染事業除染作業員の外部被ばく線量管理 就労履歴登録システムをベースとした外部被ばく量管理システム開発展開

目的

除染作業員の**見なしの外部被ばく線量**を算出

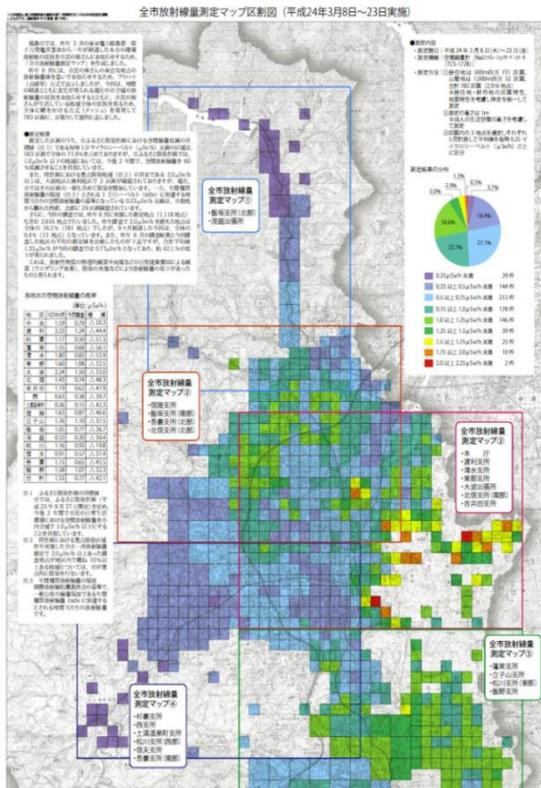
手段

入退場時間から算出した作業時間 × 単位空間線量 = 被ばく量

キーワード

- ・スマホ利用
- ・個人ID
- ・既存ASP連携

- ・個人識別番号(ID)カードをスマートフォン(スマホ)で読取
- ・入退場管理は作業員10名あたり1台程度のスマホで
- ・入退場データはグリーンサイトで集計



全市放射線量測定マップ(福島市作成)



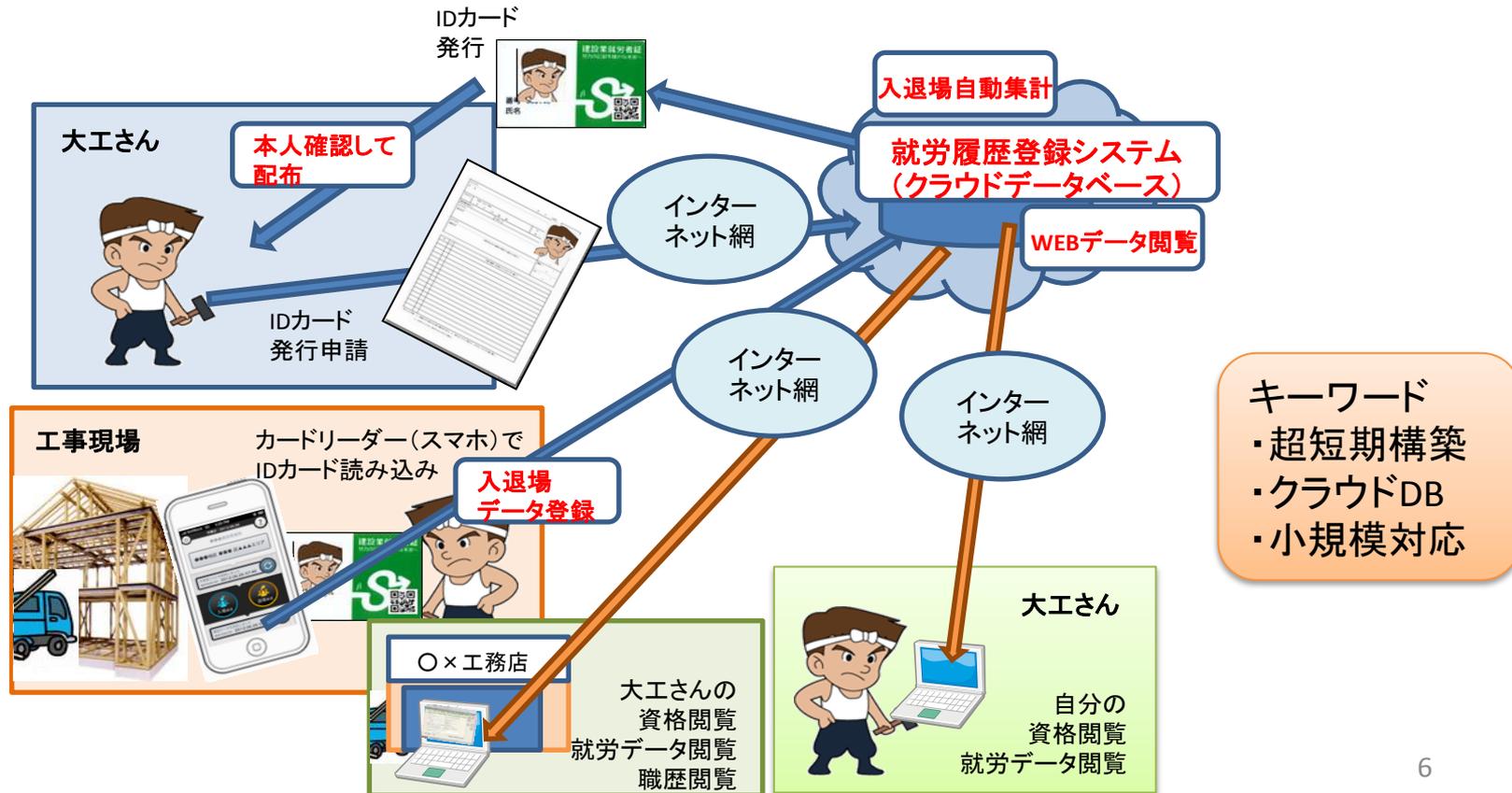
スマートフォン カード読み取り手順

# 2013年国交省住宅局受託業務 大工技能者を対象とした実証実験の概要

## 「大工就労履歴登録システム」

### 目的

- 木造住宅などの小現場で、就労履歴登録システム成立性、利用者評価の検証
- ・福島市除染事業で開発したiPhoneカードリーダーを使用(固定カードリーダー設置が難しいため)
  - ・データベースにGoogleクラウドを使用(2ヵ月でのシステム構築)
  - ・全建総連の傘下の首都圏建設産業ユニオンに所属する大工100人を対象に実証実験を実施





# (仮) 就労履歴登録カード発行要領案

- ・建設技能者は申請代行機関に申請する。
- ・代行機関は手続きに従い、本人確認を行った後、運営機関にデータを送付する。
- ・運営機関は、DBに登録し、IDカード発行指示する。
- ・IDカードを作成し、本人であることを確認したうえで手渡す。

